

NEWS & TOPICS

グループ各社の注目ニュースをお届けします

2024年
10月-12月

CLOSE UP 1

企業情報

12月11日

「セブン・ザ・プライス」が
累計販売金額200億円突破！
「セブンプレミアム」も好調に推移

セブン&アイ・ホールディングスが展開する、グループ共通のプライベートブランド(以下、PB)「セブン・ザ・プライス」の発売開始からの累計販売金額が200億円を突破いたしました(2024年12月時点)。「セブンプレミアム」シリーズは幅広い世代のお客様からご好評をいただいております。2024年度の年間売上高は当初計画の1兆5000億円達成に向けて着実に推移しております。とくに好調なのが、2021年7月にイートヨーカドーのオリジナルブランド「ザ・プライス」として誕生し、2022年9月からグループ共通のPBとして展開している「セブン・ザ・プライス」です。「おいしさ」と「品質」を追求しながら、コスト低減を図っており、2024年度の上期売上は前年比約200%増を記録し、アイテム数も当初の11から211にまで拡大(2024年11月末時点)。また、贅沢ニーズに応える最上級ブランド「セブンプレミアムゴールド」も多くのお客様からご好評をいただいております。



CLOSE UP 2

企業情報

12月10日

物流課題の解決に向け京王グループと連携し
鉄道による商品配送を開始

セブン・イレブン・ジャパンと京王運輸株式会社は、都内を走る京王電鉄株式会社の京王井の頭線駅構内に、おいて株式会社京王ストアが運営するセブン・イレブン店舗への商品納品について、鉄道による商品配送の実証実験を開始しました。本取り組みでは、京王運輸の配送員が永福町駅で電車に商品を積み込み、井の頭線内のセブン・イレブン店舗がある一部の駅で降車して納品を行います。まずはチルド温度帯の商品を対象とし、今後対象カテゴリーの拡大も検討いたします。物流2024年問題など、物流業界を取り巻く環境が大きく変化中、効率的かつ持続可能な配送の実現により社会課題の解決を目指す当社と、鉄道を活用した物流事業の拡大を目指す京王グループの思いが重なり、今回の取り組みが実現。配送トラック台数の削減や最適な配送コースの編成、配送ドライバーの労働時間の改善だけでなく、鉄道活用によるCO₂排出量の削減にもつなげていきます。



- (各社の役割)
- セブン・イレブン
・鉄道を用いた配送の企画検討
- 京王運輸
・鉄道を用いた配送および企画検討
- 京王電鉄
・物流への鉄道車両活用の協力

社外評価

セブン・イレブン・ジャパン

10月17日

「セブンカフェ」が「グッドデザイン・ロングライフデザイン賞2024」を受賞

セブン・イレブン・ジャパンは、店頭専用マシンで提供しているセルフドリッパ式コーヒー「セブンカフェ」において、「グッドデザイン・ロングライフデザイン賞2024」(主催公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞しました。「セブンカフェ」は、2013年の発売開始以降、日々の暮らしの中で手軽に味わえるおいしさがご好評をいただき、累計販売数は80億杯を突破しています(2023年10月末時点)。今回の受賞では、「コンビニコーヒー」という新たなジャンルを築き、先進的な技術と洗練されたデザインでコーヒーの消費スタイルを大きく変化させた点が評価されました。



企業情報

セブン・イレブン・ジャパン

10月21日

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)会場内にセブン・イレブン2店舗を出店

セブン・イレブン・ジャパンは、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)の会場内にセブン・イレブン店舗を2店舗出店します。フードロス・資源循環に配慮したサステナブルな取り組みの具現化、最新技術の導入によるスムーズな店舗運営を実現し「未来型」営業店舗を目指します。また、大阪ヘルスケアパビリオンにも参画。「ヘルスケアベンダーマシン」と呼ばれる体験機を設置し、来場者の健康状態データと生活習慣をもとに、理想の健康状態のために必要な栄養や食材、レシピの提案を行います。当社は企業・団体・個人の皆様と共創し、大阪・関西万博の成功に貢献してまいります。



社会・環境活動

セブン&アイ・ホールディングス

10月23日

ネイチャーポジティブ実現に向け「セブン&アイグループ自然資本に関する方針」を策定

セブン&アイ・ホールディングスは、自然資本に関する取り組みをよりいっそう推進するために、「セブン&アイグループ自然資本に関する方針」を策定・開示しました。2022年12月に開催された国連生物多様性条約第15回締約国会議において、新たな国際目標として生態系を保全し、自然を回復・再生させる「ネイチャーポジティブ」の考え方が示され、私たち企業も取り組みが求められています。当社では、これまでも環境宣言『GREEN CHARTER 2050』に基づく持続可能な調達への取り組み、セブンの森・セブンの海の森づくりへの参画などを通じて、ネイチャーポジティブの実現に向けた取り組みを実施してまいりました。今回策定した方針は、当社の積極的取り組み姿勢を明確にしたものです。今後も自然へのネガティブな影響を回避・最小化し、生態系の保存、自然の回復・再生に資する活動を推進してまいります。

10月29日

社会・環境活動

イトーヨーカ堂

店頭回収した冷凍食品包装をリサイクルする実証実験を開始

株式会社、TOPPAN
株式会社、イトーヨーカ堂、アマタ
株式会社、株式会社ニチレイフーズの4社は、冷凍食品包装(フィルム)の店頭回収を行い、回収したプラスチックをクリップなどの樹脂加工品にリサイクルするための実証実験をイトーヨーカドー大森店にて開始しました。本実証実験では、消費者が家庭内で事前に洗浄・乾燥を行った冷凍食品包装(フィルム)を店舗にて回収し、使用済みの冷凍食品包装のリサイクル化に向けた技術検証を行うと同時に、消費者との最適なコミュニケーション手法や効率的な回収スキームを検証します。今回の共同実証をもとに、消費者、行政、企業の連携による冷凍食品包装(フィルム)の分別回収・リサイクルの仕組み構築を目指し、中長期的には業界全体を巻き込みながら実証範囲を拡大していくことで、冷凍食品包装(フィルム)の資源循環モデルを構築し、社会実装を目指します。

イトーヨーカ堂は株式会社カインズとのオリジナル商品を、イトーヨーカドー50店舗で本格的に取り扱い開始

イトーヨーカ堂は株式会社カインズと連携し、東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、イトーヨーカドー50店舗において、カインズのオリジナル商品の取り扱いを開始しました。「フード&ドラッグ戦略」を成長の重要な柱と位置づけ、日用品や医薬品、化粧品などの品揃えの強化を進める中で、今回の取り組みでは、洗濯用品、掃除用品、キッチン用品を中心とした日用雑貨、消耗品など約30アイテムのカインズオリジナル商品を導入しました。

当社は、今後もお客様のニーズに対応するとともに、商品を通じて地域のお客様の「日常」を楽しく豊かに、便利にすることを目指してまいります。



10月30日

イトーヨーカ堂は株式会社カインズとのオリジナル商品を、イトーヨーカドー50店舗で本格的に取り扱い開始

イトーヨーカ堂は株式会社カインズと連携し、東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、イトーヨーカドー50店舗において、カインズのオリジナル商品の取り扱いを開始しました。「フード&ドラッグ戦略」を成長の重要な柱と位置づけ、日用品や医薬品、化粧品などの品揃えの強化を進める中で、今回の取り組みでは、洗濯用品、掃除用品、キッチン用品を中心とした日用雑貨、消耗品など約30アイテムのカインズオリジナル商品を導入しました。

当社は、今後もお客様のニーズに対応するとともに、商品を通じて地域のお客様の「日常」を楽しく豊かに、便利にすることを目指してまいります。



店舗裝飾用タペストリーの循環使用トライアル開始

ロフトは現在全国の8店舗にて、株式会社BPL Lab が運営する繊維循環プラットフォーム「BLOGCLOOP」に参画し、繊維衣類品・繊維製品などの回収を行っています。繊維製品の循環の新たな取り組みとして、店舗裝飾で使用しているタペストリーの廃棄削減を目指し「使用↓回収↓脱色↓再印刷↓使用」という循環使用トライアルを池袋ロフトで開始しました。

11月1日

赤ちゃん本舗 関東初！産婦人科に「アカチャンホンポ」の自動販売機を設置

赤ちゃん本舗は「産婦人科菅原病院」(埼玉県越谷市)院内に、アカチャンホンポで取り扱うマタニティ・ベビー用品をいつでも購入できる自動販売機を設置。これは関東では初の取り組みです。病院の意見や店舗の販売実績をふまえ、入院中のニーズが高い商品21種類を用意しました。



11月13日

セブン銀行 外国籍の方もATMでセブン銀行口座開設のお申込みが可能に

これまで日本国籍の方のみが対象であったセブン銀行ATMでの口座開設サービスを、日本に居住される外国籍の方々にも拡大しました。これにより、原則24時間365日、セブン銀行第4世代ATMで、口座の開設申込みが可能になりました。開設後もATMとコンタクトセンターでは9言語で対応、アプリなどから海外送金のご利用も可能であり、より安心・便利にお使いいただけます。

12月23日

セブン&アイ・ホールディングス DJSI「World Index」構成銘柄に選定！食品・日用品小売業種では日本で唯一

セブン&アイ・ホールディングスは、「Dow Jones Sustainability Indices」の構成銘柄に2年連続で選定されました。DJSIは、ESG分野における総合的な企業評価に基づいて構成銘柄が選定される、世界的に著名な指数です。食品・日用品小売業種では、日本企業で唯一の選定となりました。



11月29日

セブン・イレブン・ジャパン 地域交流施設併設・地元産木材100%店舗「セブン・イレブン 伏見北鍵屋公園店」がオープン

セブン・イレブン・ジャパンは、京都市の都市公園に地域の交流施設を併設した木造店舗「セブン・イレブン 伏見北鍵屋公園店」をオープンしました。京都市が創設した新しい公園運営モデル「Park・UP事業」の初の参画企業として、地域住民の交流施設を併設し、社会課題の解決と地域のニーズに対応した新しい公園運営スキームを実現しました。また、本店舗の躯体や内外装には、京都市域産材の「みやこ杣木」を100%使用、カウンター周辺については「北山杉」を採用するなど、地域の木材を活用することで、木材の地産地消の推進、地域資源の循環による森の再生、CO₂の吸収量の増加に貢献しています。

イトーヨーカ堂 eco検定アワード2024「大賞」受賞

イトーヨーカ堂は、環境活動に取り組む企業を表彰する「eco検定アワード2024」において、「大賞」を受賞しました。当社では「日々の暮らしの中でできる環境活動」をテーマに活動を推進しています。10月の環境月間に行ったサーキュラーエコノミー、食品ロス削減などの環境活動や、イトーヨーカドー・ヨーク全店が各店で考え実践した省エネの取り組みなどが評価されました。さらに、従業員の環境社会検定試験(eco検定)の取得も2014年から推進しており、推進対象の従業員の約2割にあたる5299名が取得しています(2024年10月末時点)。今後も地域社会と一体となり、取り組みを推進してまいります。



※環境社会検定試験(eco検定)®は東京商工会議所の登録商標です

11月25日

セブン・イレブン・ジャパン バイオディーゼル燃料を100%活用した配送実験を開始

セブン・イレブン・ジャパンと三井物産株式会社は、セブン・イレブン店舗へ商品を配送するトラックにバイオディーゼル燃料(以下、BDF)100%のB100燃料を活用する実証実験を、兵庫県内の共同配送センターにおいて開始しました。今回、大阪府や京都府などのセブン・イレブン約1500店舗などで回収した使用済み食用油から高純度B100燃料を精製し、配送車両に給油して、大阪方面のセブン・イレブン店舗への配送を行います。本取り組みで使用するBDFは植物由来の使用済み食用油から精製されており、カーボンニュートラル効果が見込まれることから、軽油を使用するの比べCO₂排出量の削減効果が期待できます。



イトーヨーカ堂 注文からお届けまで最短40分！新デリバリーサービス

イトーヨーカ堂は、多様化するデリバリーニーズに対応するために、ONIGO株式会社と資本業務提携に基本合意いたしました。これにより、両社のノウハウを合わせた新しいデリバリーサービスを再構築し「ONIGO上のイトーヨーカドーネットスーパー」として、2025年2月より93店舗でサービス提供を開始します。今回の資本業務提携で、ONIGOが持つクイックコマースのシステムや事業開発力と、当社の商品調達力および、これまで培ってきたデリバリーサービスのノウハウを組み合わせることと、サービス品質のさらなる向上を目指します。

Table with 2 columns: Service Name (ONIGO On-Itouyokado Net Super) and Details (Start Date, Store Count, Product Range, Delivery Fee, etc.)

11月27日

セブン銀行 送金サービス「ATM受取」の契約企業数が1000社を突破

セブン・ペイメントサービスが提供する「ATM受取」は、口座情報不要で企業から個人への送金を可能にする独自の送金サービスです。企業の送金業務の負担を減らす利便性の高さが評価され、約6年で契約企業数1000社を突破いたしました。最近では、「メーカー・携帯代理店によるキャッシュバック」や「ECサービスのキャンセルや会員解約に伴う返金」に加え、給与の前払いや自治体給付金など、さまざまなシーンで活用されています。

新店情報

Table listing new store openings with columns for Date, Store Name, and Address.